# 令和５年度第２回南城市立知念小学校学校運営協議会　議事録

## １　開催日時

令和５年10月５日（木）16時～17時

## ２　開催場所

南城市立知念小学校　図書室

## ３　出席者

【委　員】７名（欠席者２名）
【事務局】１名

## ４　議題

（１）学校評価から見える課題について
（２）来年度からの小中連携・合同行事等について
（３）その他（次回の会議日程等）

## ５　協議内容

（１）学校評価から見える課題について
・学校評価の概要説明（事務局）。
※特に質問無し。

（２）来年度からの小中連携・合同行事等について（事務局）
・知念ピック（中学校行事）を見て、中学生たちの力強い様子に心を打たれた。一緒に開催することになれば、先輩たちのダイナミックな動きや行うことが小学生の子どもたちにとってあこがれや、先輩後輩の交流を生み出していくのではないか。（委員）
・学校が主体性を持って（意図をもって）合同にしていくのであれば、とても良い取り組みとなるのではないか。昔のPTA運動会の様になるのではないか。兄さん姉さんと子どもたちが交流できる種目を工夫してほしい。（委員）
・中学生が主体的に知念ピックを進めている様子が印象に残っている。それでも、

活動について十分に満足したとは思っていない子もいたという。下の子たちと合同でやるとなると、活動や取り組みに中学生が満足できないのではないか。（委員）

・知念ピックとは別で、合同の運動会を考えるべきではないか。目的を別にして、合同の行事をするべきと考える。その中で、小学校の運動会は、6年生が最高学年として引っ張ってきたと思う。それが、上の先輩たちにひっぱられるとなると、立場や主体性は大丈夫か。その点も是非工夫してほしい。（委員）

・合同となると、時間が午後までかかることが予想される。しかし、昔に戻る形となるかもしれないが、弁当時間も必要となってくるのではないか。（委員）

・これまでの形にこだわりすぎず、新しいものを生み出す気持ちで進めていけると良いのではないか。いろいろな指導・条件があるが工夫してほしい。（委員）

・楽しみをみんなで共有する場として、合同の行事があってほしい。弁当の時間もその一つではないか。（委員）

・昔の運動会には、地域の名士の方が教えた空手の種目があった。鼓笛隊の演奏などもあり、下級生たちのあこがれでもあった。地域の特色の出る種目を工夫してはどうか。（委員）

・先日、テレビ番組でも取り上げられていたが、知名の「胡蝶の舞」がエクササイズになったものが紹介された。このような地域のものが種目に取り上げられると独自性があって面白いのではないか。（委員）

・今後行事等だけでなく、中学との学校運営協議会が一つになることについて（事務局）

・中学校と小学校の学校運営協議会が今後一つになることについて、良いことだと思う。（委員）※一同賛成であった。

・第3回目が、中学との合同の開催であっても良いと考える。（委員）

## 6　議題事項

議題（２）全て賛成。